

## ITP パートナー機関 ベトナム国家大学ハノイ校 (HP 用)

ベトナム国家大学ハノイ校は、フランス植民地時代に設立されたインドシナ大学を起源とし、ベトナムで最も中心的な役割を果たしている国立総合大学で、京都大学とは、2007年 MOU を締結しました。その中で「ベトナム学・発展科学院」は、ベトナムのドイモイ（刷新）政策開始後、最も早く外国人の受け入れを始めた機関のひとつで、同院は、同じくハノイ校に属する「人文社会大学」の言語学科や東方学科とも連携して、外国人大学院生向けのベトナム語教育と、ベトナム研究のための講義、フィールド調査の受け入れなどを行っています。

アジア・アフリカ地域研究科は、2008年度に、ITP 事業によりインプット・レベルの学生を、同院にはじめて派遣し、3ヶ月の現地研修を行いました。今後も引き続き派遣を計画しており、さらにアウトプット・レベルの学生も将来派遣を検討しています。

### 1. ベトナム語研修コースについて

ベトナム国家大学ハノイ校の中には、外国人にベトナム語を教える機関として、この「ベトナム学・発展科学院」と「ベトナム語科」があります。ベトナム語科に、学部生や企業派遣のビジネスマンが多いのに比べて、同院の受け入れ学生は大学院生が中心です。

#### 【コース内容】

上級、中級、基礎の3レベルに分かれており、入学時にレベルテストが行われます。日本人や欧米人の大学院生は教員1人対学生1人が基本なので、1週間の受講日数や受講時間は学生の要望に応じて、自由に設定することができます。週3-4日1回2-3時間学習している人が多いですが、最高月曜から金曜まで毎日4時間に設定することも可能です。ITPでの派遣の場合、3ヶ月コース、半年コースとも受け入れ可能で、1ヶ月に一度アチーブメントテストが行われます。終了時にもアチーブメントテストがあり、修了証が発行されます。週に4-5日学習する場合は、曜日によって複数の教員が担当することになります。

今のところ、ベトナム語の検定試験は存在しませんが、現在日越両国の言語専門家の間で、中国語や韓国語のようなレベルテストを一般向けに実施する仕組みづくりに向けて、話し合いが開始されていますので、近い将来、ベトナム語の検定試験のようなものができる可能性があります。

授業料と規則は以下のとおり。(1 授業は 50 分) (2008 年度実績)

クラスの人数	授業料 (一人あたり)	専門授業 (一人あたり)
1 人	6 ドル	12 ドル
2 人	4.5 ドル	8 ドル
3 人	3.5 ドル	6 ドル
4-6 人	3 ドル	5 ドル
7 人以上	協議による	協議による

- ・ 学生は前の月の授業の授業料を、翌月の最初の 5 日間のうちに支払わなくてはなりません。
- ・ 学生は実際のクラスの人数によってではなく、登録時のクラスの人数に従って授業料を支払うものとします。
- ・ 学生は授業を休むときは、少なくとも 1-2 時間前に教員に申し出なければなりません。
- ・ 学生が学習を止める必要がある時は、正式な申請書を書かなければならず、教員と院にそれが認められなければなりません。授業料の支払いは、正式に上記申請が認められるまでは支払わなければなりません。

その他、アウトプット・レベルによる派遣の場合は、個別の専門分野の授業も受けられます。専門分野の個別授業の授業料は上記表の右端部分のとおりです。

また学生の希望により、ベトナム国家大学ハノイ校の関連学部での聴講も可能ですが、こちらについては修了証は発行されません。

## 2. 宿舍と生活費について

ハノイ国家大学付属の外国人留学生向け寄宿舎に入居可能である。大学からやや遠いものの、最新設備で食堂もついていて部屋代も安い(金額未定)とのこと。

しかし、日本人留学生のほとんどはベトナム人の個人宅(賄いつきの物件もある)に下宿しており、その方がベトナム語学習の効率も上がると思われまので、研究科としてはそちらを薦めます。本研究科院生が渡航の際には、現在すでに留学している他大学の留学生、日本人長期滞在者から、下宿や大家を紹介してもらった方がよいと思われま。

現在 6 畳一間程度の部屋を下宿人として借りる場合、1 ヶ月の家賃は 250-300 ドル程、賄いつきの場合食費は 70 ドル(朝・昼・晩)程度です。ベトナム語を週 3 回 1 回 2 時間ほど学習すると、大まかな生活費としては 1 ヶ月あたり最低で 700 ドル程度となります。(本代などは除きます。)

### 3. ビザについて

現在ベトナムへの渡航は2週間以内の観光ならビザ不要ですが、ITPでの渡航の場合は、留学ビザの取得が不可欠となります。ビザ取得のためには、大阪のベトナム領事館に取りに行かねばなりません。ビジネスビザ扱いとなるため、旅行社に代行を頼むことはできません。期間によって異なりますが6000円から1万円弱がかかります。

### 4. 留学手続きの際と滞在中のコンタクトパーソンについて

同院院長グエン・クアン・ゴック(Nguyen Quang Ngoc)氏の秘書であるドー・キエン(Do Kien)氏が、ビザの取得手続きから具体的な受け入れ業務まですべて行ってくれますが、日本語は不可です。また同院主任教員のグエン・カイン・ハー(Nguyen Khanh Ha)先生も相談にのってくださいます。

「ベトナム学・発展科学院」の入り口で、左から院長のゴック氏、加来教務掛長（2008年当時）、ITPベトナム担当伊藤正子准教授、副院長ハイ氏、秘書のキエン氏



ベトナム国家大学ハノイ校正面入り口



授業が行われる教室



大学近くの寄宿舍

